

V 履修計画

建築・生活デザイン学科

1 卒業見込証明書発行要件

卒業見込証明書は、次の要件を満たすことにより発行可能となります。

① 2年次前学期

1年次終了時に、次の要件をすべて満たしている者とする。

- (1) 1年以上の修業年数を有すること。
- (2) 総合教育科目から6単位以上を修得していること。
- (3) 専門教育科目から16単位以上を修得していること。
- (4) (2)及び(3)の修得単位を含めて、合計26単位以上を修得していること。

② 2年次後学期

2年次前学期終了時に、次の要件をすべて満たしている者とする。

- (1) 1年半以上の修業年数を有すること。
- (2) 全学共通教育科目の「自主創造の基礎1」2単位を修得していること。
- (3) 総合教育科目のうち、言語教育部門からの2単位を合わせて8単位以上を修得していること。
- (4) 専門教育科目について、次の要件を満たしていること。
 - ア 「入門ゼミナール」1単位、「総合ゼミナール」1単位を修得していること。
 - イ 「建築・生活デザインの基礎」2単位及び分野別専門教育部門A・Bのいずれか1分野のうちから6単位以上を修得していること。
 - ウ ア及びイの修得単位を含めて、24単位以上を修得していること。
- (5) (2)及び(3)の修得単位を含めて、合計44単位以上を修得していること。

③ その他

①及び②の修得単位には、サマーセッション（夏季集中授業）及びスプリングセッション（春季集中授業）における修得単位を含むものとする。

2 卒業要件

次の各科目区分の履修要件を満たし、総計62単位以上を修得することにより卒業が可能となります。

① 全学共通教育科目

3科目6単位全て修得していなければならない。

② 総合教育科目

- (1) 必修科目は全て修得しなければならない。
- (2) 言語教育部門のうち、日本語分野から1単位以上、外国語分野から2単位以上修得しなければならない。

- (3) 総合教育科目から総計で8単位以上修得しなければならない。

③ 専門教育科目

- (1) 必修科目は全て修得しなければならない。
- (2) 分野別専門教育部門A・Bのうち、いずれか1分野から10単位以上を修得しなければならない。
- (3) 共通専門教育部門及び分野別専門教育部門A・Bのうちから、14単位以上を修得しなければならない。
- (4) 専門教育科目から総計で32単位以上修得しなければならない。

ただし、許可を受けて他学科に開設された専門教育科目を履修して修得した単位については、6単位を超えない範囲で、専門教育科目選択科目の履修により修得したものとみなす。

④ 補充教育科目

高等学校までに学ぶ数学の内容の修得が不十分だと感じている人、修得したはずだが内容を忘れて自信がない人等は、補充教育科目の履修を推奨します。ただし、補充教育科目は卒業に必要な総単位数62単位に算入することはできません。

3 履修科目登録単位数の上限

各学期に履修科目として登録することができる単位数には、次の制限があります。履修科目登録に際しては「IV 履修要項」及び「V 履修計画」を熟読の上、卒業するまでの履修計画を立てるようにしてください。

① 登録単位数の上限

各学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

- | | |
|---------------------------|------|
| (1) 1年次前学期 | 29単位 |
| (2) 1年次後学期 | 27単位 |
| (3) 2年次前学期及び後学期 | 25単位 |
| (4) 各年次サマーセッション（夏季集中授業） | 6単位 |
| (5) 各年次スプリングセッション（春季集中授業） | 6単位 |

② 成績優秀者の登録単位数

次の条件をどちらも満たした場合は、上記①(2)に定めた25単位を超え29単位を上限として、履修科目を登録することを認める。

- (1) 直前の前学期又は後学期の学期GPAが2.5以上であること。
- (2) 直前の前学期又は後学期の修得単位数のうち、卒業要件に算入することのできる単位数が21単位以上であること。

③ 除外科目

卒業要件単位数に算入することのできない授業科目の履修科目登録単位は、上記①、②に定める上限単位数には含まないものとする。

4 建築・生活デザイン学科 開設科目

① 全学共通教育科目

部門	分野	1年次		2年次		履修要件
		前学期	後学期	前学期	後学期	
必修	初年次教育科目	自主創造の基礎1 (2)	自主創造の基礎2 (2)			必修単位数 6 単位を修得しなければならない。
	教養基盤科目		日本を考える (2)			
		合計 (6)				

② 総合教育科目

部門	分野	1年次		2年次		履修要件
		前学期	後学期	前学期	後学期	
教養教育		ス ポ ー ツ I (1)	ス ポ ー ツ II (1)			8 単位を修得しなければならない。 日本語表現法 I 日本語表現法 II のうちから 1 単位以上を修得しなければならない。 基礎英語 A 基礎英語 B 中級英語 A 中級英語 B 実用英語 I 実用英語 II 中国語入門 I 中国語入門 II のうちから 2 単位以上を修得しなければならない。
		スポーツ健康科学 (2)	スポーツ健康科学 [☆] (2)			
		宇 宙 の 科 学 (2)	日 本 国 憲 法 (2)			
		市 民 生 活 と 法 (2)	経 済 学 入 門 (2)			
		こ と ば と 文 化 (2)	思 想 史 (2)			
		歴 史 学 (2)				
言語教育	日本語	日 本 語 表 現 法 I (1)	日 本 語 表 現 法 II (1)			
	外国語	基 礎 英 語 A (1)	中 級 英 語 A (1)	実 用 英 語 I (1)	実 用 英 語 II (1)	
		基 礎 英 語 B (1)	中 級 英 語 B (1)			
		中 国 語 入 門 I (1)	中 国 語 入 門 II (1)			
		合計 (30)				

1) ()内の数字は単位数を表す。

2) ☆印の科目はスプリングセッション開設科目を表す。

③ 専門教育科目

部門	分野	1年次		2年次		履修要件
		前学期	後学期	前学期	後学期	
必修		入門ゼミナール (1) 建築・生活デザインの基礎 (2)	基礎ゼミナール (1) 建築デザインスタジオⅠ (2)	総合ゼミナール (1)	卒業研究 (2)	必修単位数9単位を含め、合計32単位以上を修得しなければならない。 ただし、許可を得てものづくり・サイエンス総合学科において履修した専門教育科目について修得した単位は、6単位を超えない範囲で、当該学生が在籍する学科の専門教育科目選択科目の履修により修得したものとみなす。 A デザイン系分野、B エンジニアリング系分野のいずれか1分野のうちから10単位以上を修得し、共通専門教育部門（必修科目を除く）の修得単位を含め、14単位以上を修得しなければならない。
共通基礎教育		情報リテラシ (1) 微分積分Ⅰ (2) 数学演習Ⅰ (1) 行列と行列式 (2) 物理Ⅰ (2) 物理実験Ⅰ (1)	微分積分Ⅱ (2) 数学演習Ⅱ (1) 線形代数 (2) 物理Ⅱ (2) 物理演習 (1) 物理実験Ⅱ (1) 数理統計Ⅰ (2)	微分方程式Ⅰ (2) 数理統計Ⅱ (2)	微分方程式Ⅱ (2) 化学の基礎 (2)	
共通専門教育		建築計画の基礎 (2) 建築構法の基礎 (2) 建築環境の基礎 (2)			建築総合プロジェクト (2)	
分野別専門教育	A デザイン系		欧米の建築史 (2) 建築計画Ⅰ (2) インテリアデザインの基礎 (2) 造形デザイン演習 (1)	建築デザインスタジオⅡ (2) 日本・アジアの建築史 (2) 建築計画Ⅱ (2) 建築法規 (2) インテリア計画 (2) C A D 演習 (1)	建築デザインスタジオⅢ (2) 現代建築論 (2) 建築ユニバーサルデザイン (2) ランドスケープデザイン (2) 都市デザイン (2) メディアデザイン演習 (1)	
	B エンジニアリング系	建築基礎実験 (1)	建築力学Ⅰ (2) 建築力学演習Ⅰ (1) 建築材料Ⅰ (2) 建築気候 (2) 環境工学演習Ⅰ (1) 情報処理 (1)	建築力学Ⅱ (2) 建築材料力学Ⅰ (2) 建築力学演習Ⅱ (1) 建築材料Ⅱ (2) 建築実験Ⅰ (1) 建築各種構法 (2) 建築音環境 (2) 環境工学演習Ⅱ (1) 建築情報処理 (1)	建築材料力学Ⅱ (2) 建築実験Ⅱ (1) 建築施工法 & リノベーション (2) 地盤工学 (2) 建築設備 (2) データ解析 (2)	
キャリア教育・職業教育			建築キャリアデザイン (1) ものづくりインターンシップ☆ (1)	技術者倫理 (2)		
		合計 (19)	合計 (32)	合計 (32)	合計 (30)	

1) ()内の数字は単位数を表す。

2) *印の科目はサマーセッション、☆印の科目はスプリングセッションの開設科目を表す。

④ 補充教育科目（卒業に必要な単位数に算入することはできない）

部門	分野	1 年次		2 年次		履修要件
		前学期	後学期	前学期	後学期	
		理数基礎演習 A (1) 理数基礎演習 B (1)	理数基礎演習 A ☆ (1) 理数総合演習 A ☆ (1) 理数総合演習 B ☆ (1)	理数基礎演習 B ☆ (1)		
		合 計 (2)	合 計 (3)	合 計 (1)	合 計 (0)	

1) () 内の数字は単位数を表す。

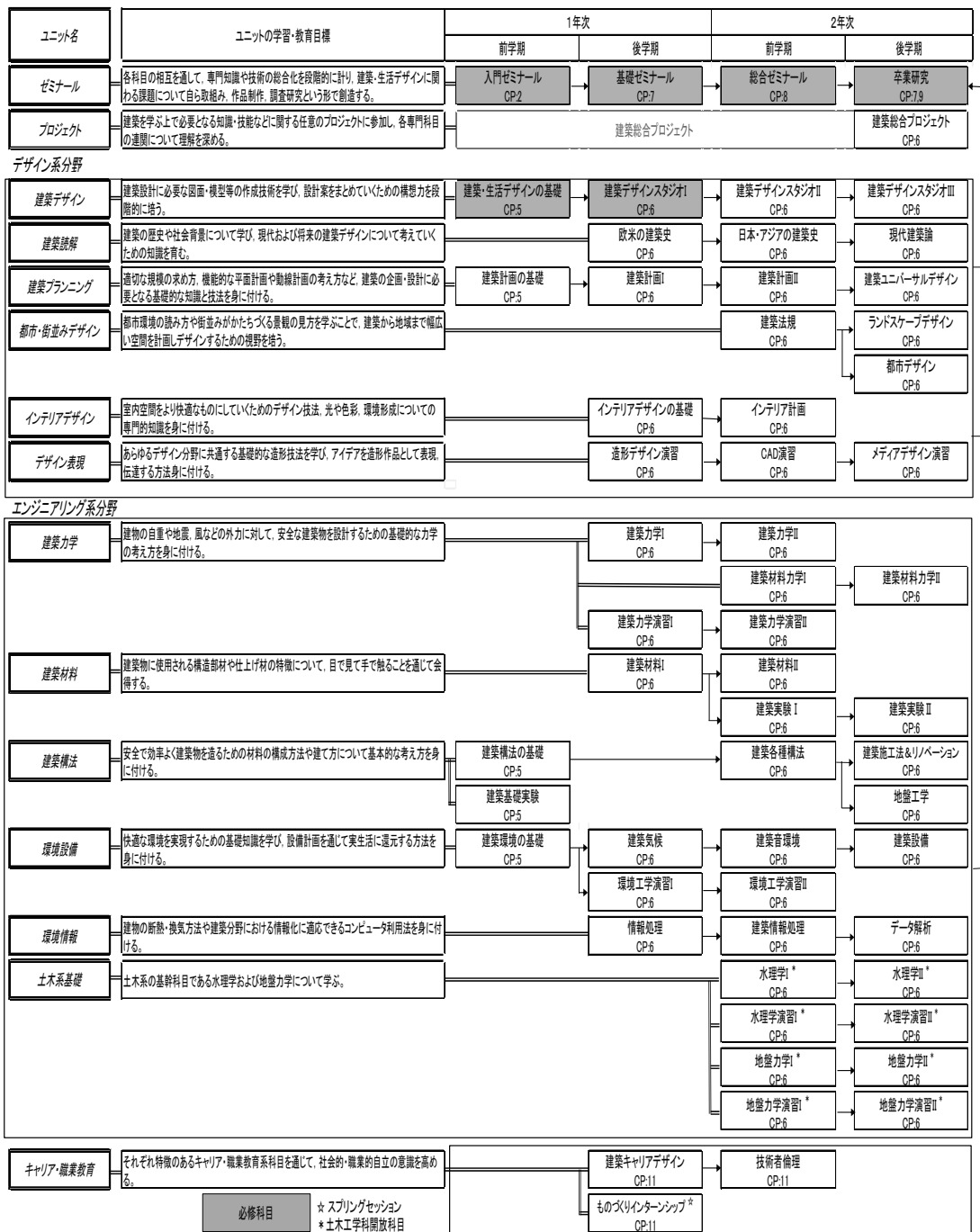
2) ☆印の科目はスプリングセッション開設科目を表す。

5 履修計画のための指針

① 履修系統図（科目ユニット）

履修系統図とは、知識・能力と授業科目との間の対応関係を示した体系図のことです。

履修モデルについては、クラス担任等と相談してください。



科目群	科目群の学習目標	1年次		2年次	
		前学期	後学期	前学期	後学期
全校共通教育科目	日本大学マインドと自主創造の3つの構成要素およびその能力を身に付けることを目指し、身に付けた能力・スキルを活用し、事象を認識して個人では完遂できない問題をチームメンバーと協働して解決できる能力を身に付ける。 なお、この科目は初年次教育として全校共通科目で実施する。	自主創造の基礎1 建築CP.1, 総合CP.1	自主創造の基礎2 建築CP.1, 総合CP.1 日本を考える 建築CP.1, 総合CP.1		
総合教育科目 (1, 2年共通)	大学生として「自ら学び、行動し、創り上げる」ことのできる学修スキルを身に付け、それらを活用し、社会人としての基本的知識や技能、態度を体得することを目指す。責任ある科学者・技術者としてはもちろん、責任ある市民として身につけるべき教養の探求と涵養を習慣化するために、教養教育科目を通じて、能力・技法を獲得し、その行使に習熟する。	スポーツⅠ 建築CP.3, 総合CP.3 スポーツ健康科学 建築CP.3, 総合CP.3 宇宙の科学 建築CP.3, 総合CP.3 市民生活と法 建築CP.3, 総合CP.3 ことばと文化 建築CP.3, 総合CP.3 歴史学 建築CP.3, 総合CP.3	スポーツⅡ 建築CP.3, 総合CP.3 日本国憲法 建築CP.3, 総合CP.3 思想史 建築CP.3, 総合CP.3 経済学入門 建築CP.3, 総合CP.3		
言語教育	一年次においては「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能に関する基礎学力を確認するとともに、それをふまえた応用力を修得する。	日本語表現Ⅰ 建築CP.4, 総合CP.4 基礎英語A 建築CP.4, 総合CP.4 基礎英語B 建築CP.4, 総合CP.4 中国語入門Ⅰ 建築CP.4, 総合CP.4	日本語表現Ⅱ 建築CP.4, 総合CP.4 中級英語A 建築CP.4, 総合CP.4 中級英語B 建築CP.4, 総合CP.4 中国語入門Ⅱ 建築CP.4, 総合CP.4	実用英語Ⅰ 建築CP.4, 総合CP.4	実用英語Ⅱ 建築CP.4, 総合CP.4
専門教育科目					
共通基礎教育	数学は理工学の前提となる重要な科目であり基本言語ともいえる。まず全ての専門分野において必要となる微分積分学(多次数関数の微積分まで)と線形代数(行列、行列式、固有値など)を学び専門科目を学修できる基礎的な能力を身につける。 力学などの基本法則を理解し、基礎的な知識や思考方法を修得し、数学を使って自然現象を議論する。実験や演習を通して、講義で得た知識を活用し、専門科目を学修できる基礎的な能力を身に付ける。	情報リテラシー 建築CP.5, 総合CP.5 微分積分Ⅰ 建築CP.5, 総合CP.5 数学演習Ⅰ 建築CP.5, 総合CP.5 行列と行列式 建築CP.5, 総合CP.5 物理Ⅰ 建築CP.5, 総合CP.5 物理実験Ⅰ 建築CP.5, 総合CP.5	数理統計Ⅰ 建築CP.6, 総合CP.6 微分積分Ⅱ 建築CP.6, 総合CP.5 数学演習Ⅱ 建築CP.6, 総合CP.5 線形代数 建築CP.6, 総合CP.5 物理Ⅱ 建築CP.6, 総合CP.5 物理演習 建築CP.6, 総合CP.6 物理実験Ⅱ 建築CP.6, 総合CP.6	数理統計Ⅱ 建築CP.6, 総合CP.6 微分方程式Ⅰ 建築CP.6, 総合CP.6	微分方程式Ⅱ 建築CP.6, 総合CP.6 化学の基礎 建築CP.5
補充教育科目	高校で学んだ数学・物理と理工系大学で必要な数学・物理の橋渡しをする科目で、基本的な考え方を身に付ける。	理数基礎演習A 建築CP.10, 総合CP.10 理数基礎演習B 建築CP.10, 総合CP.10	理数総合演習A** 建築CP.10, 総合CP.10 理数総合演習B** 建築CP.10, 総合CP.10	必修科目 **スプリングセッション	

② 主専攻分野

卒業判定時において修得単位数が最大である専門分野をもって主専攻分野とします。ただし、修得単位数が最大である専門分野が複数ある場合は、申請された専門分野をもって主専攻分野とします。

6 建築・生活デザイン学科 開設科目概要

開設科目概要の閲覧については、教務課に問い合わせてください。

7 資格取得

① 取得できる資格

- ・福祉住環境コーディネーター

受験資格については特に制限なし。

- ・インテリアコーディネーター

受験資格については特に制限なし。

- ・色彩検定

受験資格については特に制限なし。

② 受験資格が得られる資格

- ・二級建築士、木造建築士

所定の指定科目を修めて卒業すれば、実務経験なしに受験資格が生ずる。

③ 目標とする資格

- ・一級建築士

所定の指定科目を修めて卒業すれば、実務経験なしに受験資格が生ずる。

- ・インテリアプランナー

満20歳以上（試験を受ける年の4月1日現在）で受験資格が生じ、資格取得には実務経験2年と試験合格が必要となる。

V 履修計画

ものづくり・サイエンス総合学科

1 卒業見込証明書発行要件

卒業見込証明書は、次の要件を満たすことにより発行可能となります。

① 2年次前学期

1年次終了時に、次の要件をすべて満たしている者とする。

- (1) 1年以上の修業年数を有すること。
- (2) 総合教育科目から4単位以上を修得していること。
- (3) 専門教育科目から16単位以上を修得していること。
- (4) (2)及び(3)の修得単位を含めて、合計26単位以上を修得していること。

② 2年次後学期

2年次前学期終了時に、次の要件をすべて満たしている者とする。

- (1) 1年半以上の修業年数を有すること。
- (2) 全学共通教育科目「自主創造の基礎1」2単位を修得していること。
- (3) 総合教育科目から8単位以上を修得していること。
- (4) 専門教育科目について、次の要件を満たしていること。

ア 「入門ゼミナール」1単位及び「発展ゼミナール」1単位を修得していること。

イ 分野別専門教育部門A・B・C・D・E・F・Gのいずれか1分野のうちから12単位以上を修得していること。

ウ ア及びイの修得単位を含めて、24単位以上を修得していること。

- (5) (2)、(3)及び(4)の修得単位を含めて、合計44単位以上を修得していること。

③ その他

①及び②の修得単位には、サマーセッション（夏季集中授業）及びスプリングセッション（春季集中授業）における修得単位を含むものとする。

2 卒業要件

次の各科目区分の履修要件を満たし、総計62単位以上を修得することにより卒業が可能となります。

① 全学共通教育科目

3科目6単位全て修得しなければならない。

② 総合教育科目

- (1) 「日本語表現法Ⅰ」及び「日本語表現法Ⅱ」のうちから1単位以上、「基礎英語A」，「基礎英語B」，「中級英語A」，「中級英語B」，「実用英語Ⅰ」及び「実用英語Ⅱ」のうちから2単位以上修得しなければならない。
- (2) 総合教育科目から総計で8単位以上修得しなければならない。

③ 専門教育科目

- (1) 必修科目は全て修得しなければならない。
- (2) 分野別専門教育部門 A・B・C・D・E・F・Gのうち、いずれか1分野から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目から総計で32単位以上修得しなければならない。

ただし、許可を受けて他学科に開設された専門教育科目を履修して修得した単位については、6単位を超えない範囲で、専門教育科目選択科目の履修により修得したものとみなす。

④ 補充教育科目

高等学校までに学ぶ数学の内容の修得が不十分だと感じている人、修得したはずだが内容を忘れて自信がない人等は、補充教育科目の履修を推奨します。ただし、補充教育科目は卒業に必要な総単位数62単位に算入することはできません。

3 履修科目登録単位数の上限

各学期に履修科目として登録することができる単位数に次の制限があります。履修科目登録に際しては「履修モデル」「科目ユニット」のページを熟読の上、卒業するまでの履修計画を立てるようにしてください。

① 登録単位数の上限

各学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

- | | |
|---------------------------|------|
| (1) 1年次前学期 | 29単位 |
| (2) 1年次後学期 | 27単位 |
| (3) 2年次前学期及び後学期 | 25単位 |
| (4) 各年次サマーセッション（夏季集中授業） | 6単位 |
| (5) 各年次スプリングセッション（春季集中授業） | 6単位 |

② 成績優秀者の登録単位数

次の条件を満たした場合は、上記①(2)及び(3)に定めた単位数を超え29単位を上限として、履修科目を登録することを認める。

- (1) 直前の前学期又は後学期の学期 GPA が2.5以上であること。
- (2) 直前の前学期又は後学期の修得単位数のうち、卒業要件に算入することのできる単位数が21単位以上であること。

③ 除外科目

卒業要件単位数に算入することのできない授業科目の履修科目登録単位は、上記①、②に定める上限単位数には含まないものとする。

※ 詳細についてはクラス担任の指導を受けること。

4 ものづくり・サイエンス総合学科開設科目

① 全学共通教育科目

部門	分野	1年次		2年次		履修要件
		前学期	後学期	前学期	後学期	
必修	初年次教育科目	自主創造の基礎1 (2)	自主創造の基礎2 (2)			必修単位数 6 単位を修得しなければならない。
	教養基盤科目		日本を考える (2)			
		合計 (6)				

② 総合教育科目

部門	分野	1年次		2年次		履修要件
		前学期	後学期	前学期	後学期	
教養教育		ス ポ ー ツ I (1)	ス ポ ー ツ II (1)			8 単位を修得しなければならない。 日本語表現法 I 日本語表現法 II のうちから 1 単位以上を修得しなければならない。
		スポーツ健康科学 (2)	スポーツ健康科学 [☆] (2)			
		宇 宙 の 科 学 (2)	日 本 国 憲 法 (2)			
		市 民 生 活 と 法 (2)	経 済 学 入 門 (2)			
		こ と ば と 文 化 (2)	思 想 史 (2)			
		歴 史 学 (2)				
言語教育	日本語	日本語表現法 I (1)	日本語表現法 II (1)			基礎英語 A 基礎英語 B 中級英語 A 中級英語 B 実用英語 I 実用英語 II のうちから 2 単位以上を修得しなければならない。
	外国語	基礎英語 A (1)	中級英語 A (1)	実用英語 I (1)	実用英語 II (1)	
		基礎英語 B (1)	中級英語 B (1)			
		中国語入門 I (1)	中国語入門 II (1)			
		合計 (30)				

1) ()内の数字は単位数を表す。

2) ☆印の科目はスプリングセッション開設科目を表す。

③ 専門教育科目

部門	分野	1 年次		2 年次		履修要件
		前学期	後学期	前学期	後学期	
必修		入門ゼミナール (1)	基礎ゼミナール (1)	発展ゼミナール (1)	総合ゼミナール (1) 卒業研究 (2)	必修単位数 6 単位を含め、 合計32単位以上を修得しなければならない。 ただし、許可を得て建築・生活デザイン学科において履修した専門教育科目について修得した単位は、6単位を超えない範囲で、当該学生が在籍する学科の専門教育科目選択科目の履修により修得したものとみなす。 分野別専門教育部門 (A 機械工学分野、B 電気電子分野、C 情報科学分野、D 応用化学分野、E 物理学分野、F 数学分野、G 総合科学分野) のいずれか1分野のうちから16単位以上を修得しなければならない。
分野別専門教育	A 機械工学		材料力学 I (2) 機械要素 I (2) 機械工作法 I (2) 機械工作実習 I (2) 基礎機械設計製図Ⅱ☆ (1) 基礎機械設計製図Ⅱ☆ (1) 機械製図の基礎 (1)	材料力学Ⅱ (2) 流体力学Ⅰ (2) 機械要素Ⅱ (2) 機械工作法Ⅱ (2) 機械工作実習Ⅱ (2) 機械工学実験 (2) 機械設計製図Ⅰ (2)	流体力学Ⅱ (2) 流体力学演習Ⅱ (1) 材料力学演習Ⅱ (1) 機械設計製図Ⅱ (2) 機械材料 (2)	
	B 電気電子		電磁気学Ⅰ (2) 電磁気学演習Ⅰ (1) 基礎電気回路 (2) 電気回路 (2) 電気計測Ⅰ (2) 基礎電気電子実験 (2)	電磁気学Ⅱ (2) 電磁気学演習Ⅱ (1) 回路網の解析 (2) 基礎電子回路 (2) 電気計測Ⅱ (2) 基礎電子物性 (2) 応用物理学実験Ⅰ (2)	回路の応答 (2) デジタル回路 (2) 電気機器 (2) 電子物性工学 (2) 応用物理学実験Ⅱ (2)	
	C 情報科学		コンピュータシステム序論 (2) プログラミング基礎論 (2) 情報回路 (2)	情報基礎実験 (2) コンピュータハードウェア基礎 (2) プログラミングⅠ (2) 情報ネットワーク基礎 (2) 数値解析 (2) 情報セキュリティ基礎 (2) 応用物理学実験Ⅰ (2)	コンピュータグラフィックス (2) プログラミングⅡ (2) Javaプログラミング (2) 数値シミュレーション (2) 情報数理解入門 (2) 応用物理学実験Ⅱ (2)	
	D 応用化学		有機化学Ⅰ (2) 無機化学Ⅰ (2) 分析化学Ⅰ (2) 物理化学Ⅰ (2)	有機化学Ⅱ (2) 無機化学Ⅱ (2) 分析化学Ⅱ (2) 物理化学Ⅱ (2) 基礎化学工学 (2) 生命科学Ⅰ (2) 生命科学Ⅱ (2) 高分子・有機化学実験 (3) 生物化学実験 (3)	有機化学Ⅲ (2) 無機化学Ⅲ (2) 高分子科学 (2) 生命科学Ⅲ (2) 生命有機化学 (2) バイオマテリアル (2) 分子生物学 (2) 分析化学・無機化学実験 (3) 物理化学・化学工学実験 (3)	
	E 物理学		力学Ⅰ (2) 力学演習Ⅰ (1) 電磁気学Ⅰ (2) 電磁気学演習Ⅰ (1) 物理学特別講義☆ (2)	力学Ⅱ (2) 力学演習Ⅱ (1) 電磁気学Ⅱ (2) 電磁気学演習Ⅱ (1) 量子力学Ⅰ (2) 量子力学Ⅱ (2) 熱力学 (2) 応用物理学実験Ⅰ (2)	物理学数学 (2) 物理数学演習Ⅰ (1) 物理学Ⅱ (2) 量子力学演習Ⅰ (1) 相対論 (2) 応用物理学実験Ⅱ (2)	
	F 数学		数学通論Ⅰ (2) 数学通論Ⅱ (2) 解析学基礎論 (2) 代数学幾何学Ⅰ (4)	数学通論Ⅲ (2) 微分積分学Ⅰ (4) 代数学幾何学Ⅱ (4) 代数学Ⅰ (2)	数学通論Ⅳ (2) 微分積分学Ⅱ (4) 代数学幾何学Ⅲ (4) 代数学Ⅱ (2)	
	G 総合科学	〔データサイエンス系〕 情報リテラシ (1)	〔データサイエンス系〕 数理統計Ⅰ (2) 情報活用演習Ⅰ (1)	〔データサイエンス系〕 数理統計Ⅱ (2) 情報活用演習Ⅱ (1)	〔データサイエンス系〕 多変量解析 (2)	
		〔基礎数学系〕 微分積分Ⅰ (2) 微分積分Ⅱ (2) 行列と行列式 (2) 数学演習Ⅰ (2) 数学演習Ⅱ (1) ベクトル解析 (2) ベクトル解析演習 (1)	〔基礎数学系〕 線形代数 (2)	〔基礎数学系〕 微分方程式Ⅰ (2) 複素関数論 (2)	〔基礎数学系〕 微分方程式Ⅱ (2)	
		〔基礎物理学系〕 物理学Ⅰ (2) 物理演習Ⅰ (1) 物理実験Ⅰ (1)	〔基礎物理学系〕 物理実験Ⅱ (1) 物理Ⅱ (2)			
		〔基礎化学系〕 化学Ⅰ (2) 化学実験Ⅰ (2)	〔基礎化学系〕 化学Ⅱ (2) 化学Ⅲ (2) 生命科学概論 (2) 化学実験Ⅱ (2)		〔基礎化学系〕 化学Ⅰ (2)	
職業教育・キャリア教育		工学スキル演習 A* (1) 工学スキル演習 B* (1)	キャリアデザイン 工学スキル演習 B☆ (1)	技術者倫理 (2) 危険物管理入門 (2) 工学スキル演習 A* (1)	工学スキル演習 B☆ (1)	
		合計 (23)	合計 (75)	合計 (98)	合計 (82)	

1) ()内の数字は単位数を表す。

2) *印の科目はサマーセッション、☆印の科目はスプリングセッションの開設科目を表す。

④ 補充教育科目（卒業に必要な単位数に算入することはできない）

部門	分野	1 年次		2 年次		履修要件
		前学期	後学期	前学期	後学期	
		理 数 基 礎 演 習 A (1)	理 数 基 礎 演 習 A ☆ (1)	理 数 基 礎 演 習 B (1)		
		理 数 基 礎 演 習 B (1)				
		理 数 総 合 演 習 B (1)	理 数 総 合 演 習 A ☆ (1)			
		基 礎 工 学 演 習 A (1) 基 礎 工 学 演 習 B (1) 基 礎 工 学 演 習 C (1) 基 礎 工 学 演 習 D (1)				
		合 計 (10)				

- 1) () 内の数字は単位数を表す。
- 2) ☆印の科目はスプリングセッション開設科目を表す。

5 履修計画のための指針

各自の学修目的・目標に応じて履修登録を行うための「履修モデル」を以下に示します。
履修計画を立てる上で参考にしてください。

① 主専攻分野

1年次後学期開始時に機械工学，電気電子工学，情報科学，応用化学，物理学，数学及び総合科学のいずれか1つの専門分野を選択し，主として学修する専門分野としてクラス担任に申請します。申請した専門分野について，分野別専門教育部門に開設されている「基幹教育ユニット」に属する科目はすべて履修登録してください（詳細は「科目ユニット」のページを参照）。

分野別専門教育部門に配置されている機械工学，電気電子工学，情報科学，物理学，数学及び総合科学の各専門分野について，卒業判定時において修得単位数が最大である専門分野をもって「主専攻分野」とします。ただし，修得単位数が最大である専門分野が複数ある場合は，申請された専門分野をもって主専攻分野とします。

② 履修モデル

機械工学モデル	
目 標	機械系四年制大学への編入学を目指す。

電気工学モデル	
目 標	電気系四年制大学への編入学を目指す。

電子工学モデル	
目 標	電子系四年制大学への編入学を目指す。

応用情報工学モデル	
目 標	応用情報系四年制大学への編入学を目指す。

情報科学モデル	
目 標	情報系四年制大学への編入学を目指す。

応用化学モデル	
目 標	応用化学系四年制大学への編入学を目指す。

物理学モデル	
目 標	物理系四年制大学への編入学を目指す。

数学モデル	
目 標	数学系四年制大学への編入学を目指す。

総合科学モデル	
目 標	数理・データサイエンスの基礎と幅広い科学的素養を身に付ける。

科目区分	部門・分野	科目名	単位数	機械工学		電気工学		電子工学		応用情報工学		情報科学		応用化学		物理学		数学		総合科学		
				1 年 前	2 年 前	1 年 前	2 年 前	1 年 前	2 年 前	1 年 前	2 年 前	1 年 前	2 年 前	1 年 前	2 年 前	1 年 前	2 年 前	1 年 前	2 年 前	1 年 前	2 年 前	
				後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	
専門教育科目	分野別専門教育部門 E	基礎教育	力学Ⅰ	2	○											○						
		力学演習Ⅰ	1	○											○							
		力学Ⅱ	2		○											○						
		力学演習Ⅱ	1		○											○						
		電磁気学Ⅰ	2			○									○							
		電磁気学演習Ⅰ	1			○			○						○							
		電磁気学Ⅱ	2				○			○						○						
		電磁気学演習Ⅱ	1				○			○						○						
		物理数学	2			○							○				○		○			
		物理数学演習	1			○							○				○		○			
	物理学分野	A 物理	熱力学	2		○									○		○					
			応用物理学実験Ⅰ	2				○			○						○					
			応用物理学実験Ⅱ	2					○			○						○				
		B 物理	量子力学Ⅰ	2													○					
			量子力学Ⅱ	2														○				
			量子力学演習	1														○				
			相対論	2														○				
			物理学特別講義Ⅴ	2												○						
	分野別専門教育部門 F	基礎教育	代数学幾何学Ⅰ	4									○						○			
			数学通論Ⅰ	2															○			
			数学通論Ⅱ	2															○			
			解析学基礎論	2															○			
			微分積分学Ⅰ	4															○			
		A 数学	数学通論Ⅲ	2																○		
			数学通論Ⅳ	2																○		
		数学B	微分積分学Ⅱ	4																○		
		C 数学	代数学幾何学Ⅱ	4																○		
			代数学幾何学Ⅲ	4																○		
	分野別専門教育部門 G	基礎教育	D 数学	代数学Ⅰ	2														○			
			代数学Ⅱ	2																○		
			情報リテラシ	1	○			○			○		○		○			○		○		
			微分積分Ⅰ	2	○			○			○		○		○			○		○		
			微分積分Ⅱ	2	○			○			○		○		○			○		○		
			行列と行列式	2	○			○			○		○		○			○		○		
			線形代数	2		○			○			○			○			○			○	
			数学演習Ⅰ	1	○			○			○		○		○			○		○		
			数学演習Ⅱ	1	○			○			○		○		○			○		○		
			ベクトル解析	2	○			○			○		○		○			○		○		
	総合科学分野	A 総合科学	ベクトル解析演習	1	○			○			○		○		○			○		○		
			微分方程式Ⅰ	2		○			○		○			○			○			○	○	
			微分方程式Ⅱ	2									○				○			○		
		B 総合科学	複素関数論	2				○			○		○				○			○		
			物理Ⅰ	2	○			○			○			○			○			○		
			物理Ⅱ	2		○			○			○			○			○			○	
			物理演習	1	○			○			○			○			○			○		
			物理実験Ⅰ	1	○			○			○			○			○			○		
			物理実験Ⅱ	1		○			○			○			○			○			○	
		C 総合科学	情報活用演習Ⅰ	1							○		○				○			○		
			情報活用演習Ⅱ	1							○						○			○		
	キャリア・職業教育部門		数理統計Ⅰ	2		○			○				○				○			○		
	D 総合科学	数理統計Ⅱ	2				○			○				○			○			○		
		多変量解析	2								○									○		
		化学Ⅰ	2			○			○			○		○			○		○			
		化学Ⅱ	2											○								
		化学Ⅲ	2											○								
		生命科学概論	2											○								
		化学実験Ⅰ	2											○								
		化学実験Ⅱ	2											○								
		キャリアデザイン	2		○			○			○			○			○		○			
補充教育科目		キャリア・職業教育部門		技術者倫理	2		○			○			○			○			○			○
				危険物管理入門	2											○						
				スキルアップ講座A*	1			○														
				スキルアップ講座B**	1			○				○		○								
				基礎工学演習A	1		○			○					○							
				基礎工学演習B	1			○			○			○			○			○		
				基礎工学演習C	1			○			○			○			○			○		○
				基礎工学演習D	1			○			○			○			○			○		○

④ 履修系統図

履修系統図とは、知識・能力と授業科目との間の対応関係を示した体系図のことです。



必修科目

* サマーセッション

☆ スプリングセッション

【情報科学分野】
情報科学分野について、
基本的な知識及びものの
考え方を修得できる。

1年次		2年次	
前学期	後学期	前学期	後学期
情報リテラシ CP:5	プログラミング基礎 CP:6 情報活用演習Ⅰ CP:6	プログラミングⅠ CP:6 情報活用演習Ⅱ CP:6 数値解析 CP:6 情報ネットワーク基礎 CP:6 コンピュータハードウェア基礎 CP:6 情報基礎実験 CP:6 応用物理学実験Ⅰ CP:6 基礎電子回路 CP:6	プログラミングⅡ CP:6 情報セキュリティ基礎 CP:6 数値シミュレーション CP:6 情報数理解入門 CP:6 Javaプログラミング CP:6 コンピュータグラフィックス CP:6 応用物理学実験Ⅱ CP:6 デジタル回路 CP:6 回路の応答 CP:6
行列と行列式 CP:5	線形代数 CP:5 コンピュータシステム序論 CP:6 論理回路 CP:6 基礎電気電子実験 CP:6 基礎電気回路 CP:6 基礎工学演習A CP:6	代数学幾何学Ⅰ CP:6 数理統計Ⅰ CP:6 電気計測Ⅰ CP:6 電気計測Ⅱ CP:6	多変量解析 CP:6 微分方程式Ⅱ CP:6 物理数学 CP:6 物理数学演習 CP:6
微分積分Ⅰ CP:5	微分積分Ⅱ CP:5	数理統計Ⅱ CP:6 微分方程式Ⅰ CP:6 複素関数論 CP:6	化学Ⅰ CP:6
数学演習Ⅰ CP:5	数学演習Ⅱ CP:5	力学Ⅱ CP:6 力学演習Ⅱ CP:6	基礎工学演習D CP:10
ベクトル解析 CP:5	ベクトル解析演習 CP:5		
物理Ⅰ CP:5	物理Ⅱ CP:5		
物理演習 CP:6	物理実験Ⅱ CP:6		
物理実験Ⅰ CP:5	力学Ⅰ CP:6 力学演習Ⅰ CP:6		
	基礎工学演習B CP:10	基礎工学演習C CP:10	

【応用化学分野】
応用化学分野について、
基本的な知識及びものの
考え方を修得できる。

化学Ⅰ CP:5	化学Ⅱ CP:6 化学Ⅲ CP:6 無機化学Ⅰ CP:6 分析化学Ⅰ CP:6 物理化学Ⅰ CP:6 有機化学Ⅰ CP:6 生命科学概論 CP:6	無機化学Ⅱ CP:6 分析化学Ⅱ CP:6 物理化学Ⅱ CP:6 熱力学 CP:6 基礎化学工学 CP:6 有機化学Ⅱ CP:6 生命科学Ⅰ CP:6	無機化学Ⅲ CP:6 高分子科学 CP:6 有機化学Ⅲ CP:6 生命有機化学 CP:6 生命科学Ⅱ CP:6 生命科学Ⅲ CP:6 分子生物学 CP:6 バイオマテリアル CP:6
化学実験Ⅰ CP:5	化学実験Ⅱ CP:6 高分子・有機化学実験 CP:6 生物化学実験 CP:6	物理化学・化学工学実験 CP:6 分析化学・無機化学実験 CP:6	危険物管理入門 CP:6
ベクトル解析 CP:5	ベクトル解析演習 CP:5		
微分積分Ⅰ CP:5	微分積分Ⅱ CP:5		
数学演習Ⅰ CP:5	数学演習Ⅱ CP:5		
行列と行列式 CP:5	線形代数 CP:5		
物理Ⅰ CP:5	物理Ⅱ CP:5		
物理演習 CP:6	物理実験Ⅱ CP:6		
物理実験Ⅰ CP:5			
情報リテラシ CP:5			
	基礎工学演習A CP:10	基礎工学演習B CP:10	基礎工学演習C CP:10

【物理学分野】
物理学分野について、基本的な知識及びものの考え方を修得できる。

【数学分野】
数学分野について、基本的な知識及びものの考え方を修得できる。

【総合科学分野】
確かな理数系の基礎学力と幅広い科学的素養を修得できる。

1 年 次		2 年 次	
前 学 期	後 学 期	前 学 期	後 学 期
情報リテラシ CP:5	プログラミング基礎 CP:6 情報活用演習 I CP:6 コンピュータシステム序論 CP:6	プログラミング I CP:6 情報ネットワーク基礎 CP:6 コンピュータハードウェア基礎 CP:6 コンピュータグラフィックス CP:6	
	数理統計 I CP:6	数理統計 II CP:6	多変量解析 CP:6
ベクトル解析 CP:5	力学 I CP:6	力学 II CP:6	相対論 CP:6
ベクトル解析演習 CP:5	力学演習 I CP:6	力学演習 II CP:6	
微分積分 I CP:5	電磁気学 I CP:6	電磁気学 II CP:6	
微分積分 II CP:5	電磁気学演習 I CP:6	電磁気学演習 II CP:6	
数学演習 I CP:5	物理学特別講義 CP:6	量子力学 I CP:6	量子力学 II CP:6
数学演習 II CP:5		熱力学 CP:6	量子力学演習 CP:6
行列と行列式 CP:5	線形代数 CP:5	微分方程式 I CP:6	微分方程式 II CP:6
		複素関数論 CP:6	物理数学 CP:6
物理 I CP:5	物理 II CP:5		物理数学演習 CP:6
物理演習 CP:6	物理実験 II CP:6	応用物理学実験 I CP:6	応用物理学実験 II CP:6
物理実験 I CP:5			化学 I CP:6
	基礎工学演習B CP:10	基礎工学演習C CP:10	基礎工学演習D CP:10
	数学通論 I CP:6 数学通論 II CP:6	数学通論 III CP:6	数学通論 IV CP:6
行列と行列式 CP:5	線形代数 CP:5	代数学 I CP:6	代数学 II CP:6
	代数学幾何学 I CP:6	代数学幾何学 II CP:6	代数学幾何学 III CP:6
ベクトル解析 CP:5	解析学基礎論 CP:6	微分積分学 I CP:6	微分積分学 II CP:6
ベクトル解析演習 CP:5		微分方程式 I CP:6	微分方程式 II CP:6
微分積分 I CP:5		複素関数論 CP:6	物理数学 CP:6
微分積分 II CP:5			物理数学演習 CP:6
数学演習 I CP:5	数理統計 I CP:6	数理統計 II CP:6	多変量解析 CP:6
数学演習 II CP:5			
物理 I CP:5	物理 II CP:5		
物理演習 CP:6			
物理実験 I CP:5	物理実験 II CP:6		
情報リテラシ CP:5	プログラミング基礎 CP:6 情報活用演習 I CP:6	プログラミング I CP:6	プログラミング II CP:6
			情報数理入門 CP:6
			数値シミュレーション CP:6
	コンピュータシステム序論 CP:6	コンピュータハードウェア基礎 CP:6	コンピュータグラフィックス CP:6
			化学 I CP:6
	基礎工学演習B CP:10	基礎工学演習C CP:10	基礎工学演習D CP:10
情報リテラシ CP:5	プログラミング基礎 CP:6 情報活用演習 I CP:6	プログラミング I CP:6 情報活用演習 II CP:6	プログラミング II CP:6
微分積分 I CP:5	数理統計 I CP:6	数理統計 II CP:6	多変量解析 CP:6
微分積分 II CP:5		微分方程式 I CP:6	微分方程式 II CP:6
数学演習 I CP:5		複素関数論 CP:6	
数学演習 II CP:5			
ベクトル解析 CP:5			
ベクトル解析演習 CP:5			
行列と行列式 CP:5	線形代数 CP:5		
物理 I CP:5	物理 II CP:5		
物理演習 CP:6	物理実験 II CP:6		
物理実験 I CP:5	化学 II CP:6		
化学 I CP:5	化学 III CP:6		
	生命科学概論 CP:6		
化学実験 I CP:5	化学実験 II CP:6		
	基礎工学演習B CP:10	基礎工学演習C CP:10	基礎工学演習D CP:10

科目群	科目群の学習目標	1年次		2年次	
		前学期	後学期	前学期	後学期
全学共通教育科目	日本大学マインドと自主創造の3つの構成要素およびその能力を身に付けることを目指し、身に付けた能力・スキルを活用し、事象を認識して個人では完結できない問題をチームメンバーと協働して解決できる能力を身に付ける。 なお、この科目は初年次教育として全学共通科目で実施する。	自主創造の基礎1 建築CP.1、総合CP.1	自主創造の基礎2 建築CP.1、総合CP.1 日本を考える 建築CP.1、総合CP.1		
総合教育科目 (1, 2年共通)	大学生として「自ら学び、行動し、創り上げる」ことのできる学修スキルを身につけ、それらを活用し、社会人としての基本的知識や技能、態度を体得することを目指す。責任ある科学者・技術者としてはもちろん、責任ある市民として身につけるべき教養の探求と涵養を習慣化するために、教養教育科目を通じて、能力・技法を獲得し、その行使に習熟する。	スポーツⅠ 建築CP.3、総合CP.3 スポーツ健康科学 建築CP.3、総合CP.3 宇宙の科学 建築CP.3、総合CP.3 市民生活と法 建築CP.3、総合CP.3 ことばと文化 建築CP.3、総合CP.3 歴史学 建築CP.3、総合CP.3	スポーツⅡ 建築CP.3、総合CP.3 日本国憲法 建築CP.3、総合CP.3 思想史 建築CP.3、総合CP.3 経済学入門 建築CP.3、総合CP.3		
言語教育	一年次においては「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能に関する基礎学力を確認するとともに、それをふまえた応用力を修得する。	日本語表現法Ⅰ 建築CP.4、総合CP.4 基礎英語A 建築CP.4、総合CP.4 基礎英語B 建築CP.4、総合CP.4 中国語入門Ⅰ 建築CP.4、総合CP.4	日本語表現法Ⅱ 建築CP.4、総合CP.4 中級英語A 建築CP.4、総合CP.4 中級英語B 建築CP.4、総合CP.4 中国語入門Ⅱ 建築CP.4、総合CP.4	実用英語Ⅰ 建築CP.4、総合CP.4	実用英語Ⅱ 建築CP.4、総合CP.4
専門教育科目					
共通基礎教育	数学は理工学の前提となる重要な科目であり基本言語ともいえる。まず全ての専門分野において必要となる微積分学(多変数関数の微積分まで)と線形代数学(行列、行列式、固有値など)を学び専門科目を学修できる基礎的な能力を身につける。 力学などの基本法則を理解し、基礎的な知識や思考方法を修得し、数学を使って自然現象を議論する。実験や演習を通して、講義で得た知識を活用し、専門科目を学修できる基礎的な能力を身に付ける。	情報リテラン 建築CP.5、総合CP.5 微積分Ⅰ 建築CP.5、総合CP.5 数学演習Ⅰ 建築CP.5、総合CP.5 行列と行列式 建築CP.5、総合CP.5 物理Ⅰ 建築CP.5、総合CP.5 物理実験Ⅰ 建築CP.5、総合CP.5	数理統計Ⅰ 建築CP.6、総合CP.6 微積分Ⅱ 建築CP.6、総合CP.5 数学演習Ⅱ 建築CP.6、総合CP.5 線形代数 建築CP.6、総合CP.5 物理Ⅱ 建築CP.6、総合CP.5 物理演習 建築CP.6、総合CP.6 物理実験Ⅱ 建築CP.6、総合CP.6	数理統計Ⅱ 建築CP.6、総合CP.6 微分方程式Ⅰ 建築CP.6、総合CP.6 微分方程式Ⅱ 建築CP.6、総合CP.6	化学の基礎 建築CP.5
補充教育科目	高校で学んだ数学・物理と理工系大学で必要な数学・物理の橋渡しをする科目で、基本的な考えた厶を身に付ける。	理数基礎演習A 建築CP.10、総合CP.10 理数基礎演習B 建築CP.10、総合CP.10 理数総合演習B 総合CP.10	理数総合演習A** 建築CP.10、総合CP.10	必修科目	**スプリングセッション

6 ものづくり・サイエンス総合学科 開設科目概要

開設科目概要の閲覧については、教務課に問い合わせてください。

7 資格取得

① 目標とする資格

- ・ IT パスポート試験
 - ・ 基本情報技術者試験
 - ・ MOS Excel 2016, MOS Word 2016, MOS Access 2016
 - ・ インターネット検定「.com Master」
 - ・ CATIA V5 Associate
 - ・ TOEIC (R) テスト
 - ・ 中学校教諭一種免許状, 高等学校教諭一種免許状
- 詳細については「IV－5－⑤ 教職課程について」参照のこと。

② 受験資格が得られる資格

- ・ 危険物取扱者（甲種）
※化学に関する科目 15 単位を修得することが必要
- ・ 作業環境測定士
※1 年以上の実務経験が必要
- ・ 消防設備士（甲種）